

2025

シラバス



第3学年

北海道遠別農業高等学校教務部

I N D E X

1	国語表現	・ ・ ・	1
2	政治・経済	・ ・ ・	15
3	数学A	・ ・ ・	19
4	生物基礎	・ ・ ・	21
5	体育	・ ・ ・	24
6	論理・表現Ⅰ	・ ・ ・	27
7	総合実習	・ ・ ・	33
8	総合実習（草花）	・ ・ ・	36
9	野菜	・ ・ ・	38
10	◆畜産	・ ・ ・	41
11	◆栽培と環境	・ ・ ・	44
12	農業経営	・ ・ ・	46
13	食品製造	・ ・ ・	49
14	◇食品化学	・ ・ ・	52
15	◇食品微生物	・ ・ ・	55
16	総合的な探究の時間	・ ・ ・	58

◆ 生産科学コース

◇ 食品科学コース

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
国語	国語表現	3	必修	4	足立 大知

使用教科書	大修館書店 国語表現	
使用副教材	ネクスト常用漢字 第一学習社	
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	
	知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
	思考力表現力 判断力等	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにする。
	学びに向かう力 人間性等	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
学習の到達目標	知識及び技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
	思考力表現力 判断力等	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができる。
	学びに向かう力 人間性等	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を自ら培うことができる。
学習の留意点	気づいたこと、感心したこと等は、ノートなどに書き留める習慣を身につけること。	
評価規準	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	
	【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力及び、創造的に考える力を向上させ、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	
	【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	Ⅰ 言葉と出会う レッスンⅠ 言葉と表記 ・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。[(I)ア] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。[(I)ウ] 【思】・「書くこと」(4)において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。[B(I)オ] 【主】・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 4 書 4 話 0 話 0
	4	Ⅰ 言葉と出会う レッスン2 整った文を書く ・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	【知】・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。[(I)イ] 【思】・「書くこと」(4)において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。[B(I)オ] 【主】・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 4 書 8 話 0 話 0
	4	Ⅰ 言葉と出会う レッスン3 相手に応じた言葉遣い ・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	【知】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。[(I)イ] ・語彙の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(I)ウ] 【思】・「書くこと」(4)において、事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。[B(I)オ] 【主】・相手に応じた言葉を使い分けることについて、積極的に取り組もう	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 4 書 12 話 0 話 0

			としている。	
5	4	Ⅰ 言葉と出会う レッスン4 わかりやすい文を書く ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	【知】・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。[(1)イ] 【思】・「書くこと」(2)において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。[B(1)オ] ・「書くこと」(2)において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。[B(1)カ] 【主】・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書4 書16 話0 話0
	4	Ⅰ 言葉と出会う レッスン5 文のつなぎ方 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	【知】・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。[(1)ウ] 【思】・「書くこと」(4)において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。[B(1)カ] 【主】・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書4 書20 話0 話0
	4	Ⅰ 言葉と出会う 実践トレーニング① ・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方などを意識し、より適切な表現になるように吟味する。 ・原稿用紙の使い方を理解する。	【知】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)ウ] 【思】・「書くこと」(4)において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直した	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察

			りしている。[B(1)カ] 【主】・言葉と表記、係り受け、文末表現の統一、接続表現の使い方、原稿用紙の使い方等の設問に積極的に取り組もうとしている。	書 4 書 2 4 話 0 話 0
	4	2 伝える、伝え合う レッスン 1 自己紹介ゲーム ・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 [(1)イ] 【思】・「話すこと・聞くこと」(2)において、目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。 [A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」(2)において、相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。[A(1)エ] 【主】・ゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	【知】 発問評価 活動観察 【思】 発問評価 発表・報告 活動観察 【主】 活動観察 書 0 書 2 4 話 4 話 4
6	4	2 伝える、伝え合う レッスン 2 言葉のストレッチ体操 【表現への扉】「それでいいです」／意図理解の難しさ ・聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	【知】・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。[(1)イ] 【思】・「話すこと・聞くこと」(2)において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。[A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」(2)において、視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。[A(1)カ] 【主】・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 0 書 2 4 話 4 話 8
	4	2 伝える、伝え合う レッスン 3 絵や写真を見て書く ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	【知】・説明の順序や 5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] ・「書くこと」(2)において、読み	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察

		手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。〔B(1)カ〕 【主】・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。	書 4 書 2 8 話 0 話 8
4	2 伝える、伝え合う レッスン4 マイニュース記事を書こう ・5W1Hを明確にし、事実と意見を区別して文章を書く。	【知】・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深める。〔(1)エ〕 【思】・「書くこと」(4)において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。〔B(1)ア〕 【主】・身近なテーマを見つけ、ニュース記事を書く活動に積極的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 活動観察 【思】 発問評価 発表・報告 活動観察 【主】 活動観察 書 4 書 3 2 話 0 話 8
2	2 伝える、伝え合う ・宝探してみたいに本の世界へ入っていく(芦田愛菜) ・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。	【知】・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕 ・「話すこと・聞くこと」(1)視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)カ〕 【主】・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 0 書 3 2 話 2 話 1 0
2	2 伝える、伝え合う ・想像力の世界(金原瑞人) ・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組む。	【知】・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 指名音読 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察

			検討している。[A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」(1) 視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。[A(1)カ] 【主】・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組もうとしている。	書0 書32 話2 話12
7	4	3 小論文・レポート入門 レッスン1 小論文とは何か ・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(4)において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主】・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書4 書36 話0 話12
	4	3 小論文・レポート入門 レッスン2 反論を想定して書く ・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、説得力のある理由を吟味して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主】・反論を想定し、説得力を高めた小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書4 書40 話0 話12
	4	3 小論文・レポート入門 レッスン3 文章を読み取って書く 【表現への扉】「再生」は日常生活から／時代の気分、言葉の温度／藤井新棋聖	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、読み取った文章の要旨から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、読み	【知】 発問評価 活動観察 【思】 発問評価 発表・報告 活動観察 【主】 活動観察

8		・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)ウ] 【主】・文章から読み取ったことをふまえて小論文を書くことに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	書 4 書 4 4 話 0 話 1 2
	4	3 小論文・レポート入門 レッスン4 統計資料を読み取って書く 【表現への扉】データを読む③／データを読む④ ・統計資料から読み取ったことをふまえて論点を整理する。 ・統計資料から読み取ったことをふまえて小論文を書く。	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主】・統計資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 4 書 4 8 話 0 話 1 2
	4	3 小論文・レポート入門 レッスン5 発想を広げて書く ・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて発想を広げるための方法を理解し、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、読み手の同意が得られるよう、発想を広げたことをふまえて、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。[B(1)イ] 【主】・与えられたテーマから発想を広げて小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 4 書 5 2 話 0 話 1 2
	4	3 小論文・レポート入門 レッスン6 レポートを書く ・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	【知】・小論文(レポート)の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、多角的な視点でアンケート調査の方法を考えて行い、伝えたいこと	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察

			を明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、文章と図表や画像などを関係付けながら、レポートや報告書を作成している。[B(2)イ] 【主】・調べたことをレポートにまとめることに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	書 4 書 5 6 話 0 話 1 2
5	3 小論文・レポート入門 レッスン7 論文を書くために ・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	【知】・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(3)において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したり、引用の方法や参考文献の示し方や注の付け方などに留意するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)オ] 【主】・論文を書くことや、論文を書くときの留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察	書 5 書 6 1 話 0 話 1 2
9				
1	4 自己PRと面接 レッスン1 自分を見つめて ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] 【主】・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察	書 0 書 6 1 話 1 話 1 3
2	4 自己PRと面接 レッスン2 効果的な自己PR ・自分の特長を端的に表現し、印象に残る自己PRの原稿を書く。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア]	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察	

		・「話すこと・聞くこと」(1)において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。[A(1)ウ] 【主】・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	書0 書61 話2 話15
4	4 自己PRと面接 レッスン3 将来の自分を考えよう ・就きたい職業に就くために必要なことを、適切な方法で調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、実社会の職業や自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主】・自分の将来を考えたり職業について調べてまとめたりする活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書4 書65 話0 話15
5	4 自己PRと面接 レッスン4 志望理由を書こう ・志望先についての情報を適切な方法で集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけて、説得力のある志望理由を書く。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。[(1)ア] 【思】・「書くこと」(3)において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(2)において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主】・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書5 書70 話0 話15
5	4 自己PRと面接 レッスン5 自己推薦書や学修計画書を書く	【知】・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ]	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告

	・志望先に提出する書類に求められていることを適切に理解する。 ・具体的で要素の関連性を重視した書類を書く。 ・適切な言葉遣いで書類を書く。	【思】・「書くこと」(2)において、目的や意図に応じて、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア] ・「書くこと」(3)において、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書いている。[B(2)ア] 【主】・文書を書くときの留意点や、より説得力のある書類を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 【主】 活動観察 書 5 書 7 5 話 0 話 1 5
4	4 自己PRと面接 レッスン6 面接にチャレンジ ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方で答える。	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。[(1)イ] 【思】・「話すこと・聞くこと」(2)において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。[A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」(2)において、面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。[A(2)ア] 【主】・面接の留意点や面接での言葉遣いについて興味をもち、意欲的に自己評価や相互評価まで取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 0 書 7 5 話 4 話 1 9
2	4 自己PRと面接 レッスン7 グループディスカッションをしよう ・グループディスカッションのねらいを理解する。 ・積極的に話し合いに参加し、話し合いに貢献している。 ・ほかの人の話をよく聞き、その趣旨や価値を理解している。	【知】・目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、視点を明確にして聞きながら、話の内容に対する共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をしている。[A(1)カ] ・「話すこと・聞くこと」(1)において、互いの主張や論拠を吟味したり、進行や展開を助けるために発言を工夫したりしながら、話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。[A(1)キ] 【主】・グループディスカッションに興味をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書 0 書 7 5 話 2 話 2 1
3	4 自己PRと面接 実践トレーニング②	【知】・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、	【知】 発問評価 指名音読

		取り組もうとしている。	
1	5 メディアを駆使する レッスン3 電子メールを活用しよう ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	【知】・伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。[(1)イ] 【思】・「書くこと」(1)において、電子メールの特徴を理解し、注意点や適切な表現のしかたを意識して電子メールを送っている。[B(2)エ] 【主】・議論やワークシートへの書き込み、課題の提出をとおして、電子メールの特徴や活用法について理解しようとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書1 書83 話0 話23
1	5 メディアを駆使する レッスン4 ネット社会との付き合い方 ・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。[(1)ア] 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、目的や場に応じて、ネット社会との付き合い方に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。[A(1)ア] 【主】・ネット社会との付き合い方について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書0 書83 話1 話23
4	5 メディアを駆使する レッスン5 ネットを活用した情報収集 ・インターネットでの情報の検索のしかたと、その留意点について理解する。	【知】・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。[(1)ア] 【思】・「話すこと・聞くこと」(2)において、共感を伝えたり、相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。[A(1)カ] ・「書くこと」(2)において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。[B(1)エ] 【主】・インターネットでの情報検索のしかたやその留意点に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書2 書85 話2 話25
4	5 メディアを駆使する レッスン6 メディアと情報 【表現への扉】メディアっ	【知】・さまざまなメディアの種類や特徴、メディアリテラシーをもとにした情報との向き合い方について理解を深めている。[(1)エ] 【思】・「書くこと」(4)において、	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告

		て何？すべては編集されている ・情報が編集されていることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	メディアとの付き合い方を題材に設定して多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見をまとめている。〔B(2)オ〕 【主】・さまざまなメディアの特徴とそれから得られる情報について興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 【主】 活動観察 書4 書89 話0 話25
12	3	6 会話・議論・発表 レッスン1 相手や場面に応じた会話 ・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕 【思】・「話すこと・聞くこと」(3)において、相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。〔A(1)エ〕 【主】・相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書0 書89 話3 話28
	3	6 会話・議論・発表 レッスン2 建設的な議論の進め方 ・話し合いのステップを意識しながら話し合いに参加し、建設的な議論になるように協力し合う。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕 【思】・「話すこと・聞くこと」(3)において、論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)オ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、話し合いの目的に応じて議論をし、話し合いのしかたや結論の出し方について工夫したり、批評したりしている。〔A(1)キ、(2)エ〕 【主】・話し合いをよりよく進めることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書0 書89 話3 話31
	3	6 会話・議論・発表 レッスン3 スピーチをしよう ・話すことの順序を考えて、わか	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告

		りやすいショートスピーチをする。 ・話し手が話しやすい聞き方をする。	【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、目的や場に応じて、情報を収集、整理して、内容を検討している。 [A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」(2)において、聴衆に対してスピーチをしたり、それらを聞いて批評したりしている。 [A(2)ア] 【主】・スピーチをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 【主】 活動観察 書0 書89 話3 話34
3	レッスン4 プレゼンテーションの工夫 ・プレゼンテーションのテーマに合わせて、資料の準備や発表の準備を行う。 ・聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表する。	【知】・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。[(1)イ] 【思】・「話すこと・聞くこと」(1)において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。[A(1)ア] ・「話すこと・聞くこと」(1)において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。[A(1)エ] ・「話すこと・聞くこと」(1)において、設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、聴衆に対して説明している。[A(2)オ] 【主】・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、積極的に活動に取り組もうとしている。	【知】 発問評価 指名音読 定期考査 【思】 発問評価 発表・報告 定期考査 【主】 活動観察 書0 書89 話3 話37	
1				

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
公民	政治・経済	2	必修	2	清水野 天斗

使用教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版
使用副教材	
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決に向けて個構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
学 習 の 留意点	(1) 教科書・ファイル（ノート）は、毎時間必ず準備すること。 (2) ファイル（ノート）は、政治経済専用で準備すること。 (3) 日頃からニュースや新聞をみる習慣をつけること。
評価規準	【知識・技能】 社会の在り方や現実社会の諸課題についての概念や理論を理解し、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切に読み取ったり、調べたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治に関する概念や理論などを活用して、現実社会の諸課題について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとし、主体的に現実社会の諸課題を解決しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	オリエンテーション 成人年齢を迎えるにあたって 第Ⅰ編 現代日本の政治 Ⅰ章 現代国家と民主政治 1 民主政治と法 2 民主政治の基本原則 3 世界の主な政治制度	【知】政治と法の意義と機能について、実現社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】民主政治の本質について、現代政治の在り方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
5 ・ 6	15	2章 日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原則 3 自由に生きる権利（1） 4 自由に生きる権利（2） 5 平等に生きる権利 6 社会権と参政権・請求権 7 新しい人権 8 人権の広がりと公共の福祉 9 平和主義と自衛隊 10 日米安全保障体制の変化 11 21世紀の平和主義	【知】基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係について、実現社会の諸事象を通して理解を深めている。 【知】現代日本の政治に関する諸資料から、課題解決に向けての考察、構想する際に必要な情報を収集、読み取る技能を身につけている。 【思】日本国憲法と現代社会の在り方とかんれんについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		前期中間考査 考査の振り返り	【態】よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	

7	8	3章 日本の政治制度と政治参加 1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加	【知】政治機構，議会制民主主義及び選挙制度，地方自治について，実現社会の諸事象を通して理解を深めている。 【知】議会制民主主義などの政治制度や選挙制度を理解し，投じた票から計算し，当選人を導き出すことができる。 【思】選挙制度に基づいて，正しく投票用紙に候補者と正しく記載することができる。 【思】政治参加の在り方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現のために，積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
8 ・ 9	13	夏休み明け単元テスト 第2編 現代日本の経済 Ⅰ章 現代の経済社会 1 経済活動の意義 2 経済社会の変容 3 経済主体と市場の動き 4 企業の役割 5 国民所得 6 経済成長と国民の福祉 7 金融の役割 8 日本銀行の役割 9 財政の役割と租税 納める税を確定する－確定申告－ 10 日本の財政の課題	【知】経済活動と市場，経済主体と経済循環，金融の働きと仕組みについて，実現社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方，金融を通した経済活動の活性化について，多面的・多角的に考察し，表現している。 【態】よりよい社会の実現のために，積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
		前期末考査 考査の振り返り		

10	7	2章 現代の日本経済と福祉の向上 1 日本経済の成長と課題 2 中小企業と農業 3 消費者問題 4 公害防止と環境保全 5 労働問題と労働者の権利 6 こんにちの労働問題 7 社会保障の役割と課題	【知】現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて、考察する際に、必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身につけている。 【思】経済活動の活性化について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
11	9	第2部 現代の国際政治・経済 第1編 現代の国際政治 1章 国際政治の動向と課題 1 国際社会と国際法 2 国際社会の変化 3 国際連合と国際協力 4 こんにちの国際政治 5 人種・民族問題 6 軍拡競争から軍縮へ 7 日本の外交と国際社会での役割	【知】国際社会の変遷、国家主権、人権などに関する国際法の意義や国際機構の役割、日本の安全保障などについて、現実社会の諸事象を通して、理解している。 【思】国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
		後期中間考査 考査の振り返り		
12	9	第2編 現代の国際経済 1章 国際経済理論 1 貿易と国際収支 2 外国為替市場の仕組み 2章 国際経済の動向と課題 1 第二次世界大戦後の国際経済 2 国際経済の動向 3 新興国の台頭 4 経済のグローバル化とICTでわかる世界経済 5 発展途上国の課題と展望 6 地球環境問題 資源エネルギー問題 7 経済協力と日本の役割	【知】貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支など、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】国際経済において果たすことが求められる日本の役割にて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】よりよい社会の実現のために、積極的に自己の役割を果たそうという自覚を深めようとしている。	
I	3	後期末単元テスト 1年間の振り返り		

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
数学	数学A	3	必修	2	今井進裕

使用教科書	最新 数学A（数研出版）
使用副教材	パラレルノート 数学A（数研出版）
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う
学 習 の 到達目標	1 基礎的な知識・技能の習得ができる。 2 図形の性質を理解し、論理的に考察することができる。 3 数学と人間の活動との関わりに着目し、数学のよさを認識する。 4 問題解決に向かって、様々な活動に粘り強く取り組むことができる。
学 習 の 留意点	授業で問題を解いた後に、副教材を用いて復習を行うこと。 教科書を見返して復習を行うこと。
評価規準	【知識・技能】 （1）図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 （2）数学と人間の活動についての認識を深め、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 （2）事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 （1）図形について成り立つ性質を用いて、論理的に考察することができる。 （2）数学と人間の関わりについて知り、身の回りの事象について数理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 （1）数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 （2）粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 （3）問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5 6 7 8 9	35	☆第3章 数学と人間の活動 ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・整数の割り算 ・最大公約数 ・ユークリッドの互除法 ・記数法 ・座標 ・ゲーム、パズルの数学 ・課題学習	【知】整数について成り立つ性質について理解を深めることができる。 【知】素因数分解ができる。 【思】最大公約数の考え方をを用いて問題を考察することが出来る。 【思】現代の記数法の良さを、古代の記数法と比較して考察することができる。 【態】問題を解決する際に、学習した知識を活用しようとしている。 【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録
10 11 12 1	35	☆第2章 図形の性質 ・角の二等分線 ・外心、内心、重心 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円 ・作図 ・多面体 ・課題学習	【知】三角形、縁について成り立つ性質を理解することができる。 【知】図形の性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求めることができる 【思】身の回りの事象について、図形の性質を用いて考察することができる。 【態】問題を考える際に、既習事項を粘り強く活用して解決しようとしている。 【態】日常の問題の解決に向けて、数学的活動を通して問題を解決しようとしている。	【知】単元テスト レポート 【思】単元テスト レポート 【態】レポート 振り返りの記録

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
理科	生物基礎	3	必修	2	高田 駿

使用教科書	生物基礎（数研出版）
使用副教材	リードLightノート生物基礎
科目の目標	生物や生命現象の多様性と機能について探求し、主体的に学ぶ態度を養う。
学 習 の 到達目標	1. 知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 2. 知識・技能を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身につけているか。 3. 粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調節しようとしているか。
学 習 の 留意点	1. 授業プリント・ワークシート等を忘れずに記入する。 2. 観察・実験の時間では特にしっかり話を聞き、勝手に行動をとらない。 3. 忘れ物等の報告および自身でできる対応について授業前に報告を行う。
評価規準 及 び 評価配分	【知識・技能】 ・生物が共通性を持ち、共通の祖先に由来することを理解している。 ・ATP が生命活動にエネルギーを供給するしくみを理解している。 ・代謝が、酵素のはたらきにより進行していることを理解している。 ・DNA の遺伝情報に基づくタンパク質合成過程を理解している。 ・自律神経系と内分泌系による調節のしくみを理解している。 ・生態系において種多様性が維持されるしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生物が生息環境に適した形態や機能を持つことを考察している。 ・生物の共通点と相違点を進化の視点に基づき、考察している。 ・生物のエネルギー獲得のしくみを考察している。 ・DNA の塩基配列とアミノ酸配列との関係について考察している。 ・交感神経と副交感神経のはたらきについて考察している。 ・未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察している。 ・森林環境や植生がどのような変化するかを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報の発現に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 ・体内環境に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 ・免疫のはたらきに関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。 ・生態系と保全に関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性 2 生物の多様性・共通性とその由来 3 生物の共通性としての細胞	【知】生物が共通性を持ち、共通の祖先に由来することを理解している。 【思】生物が生息環境に適した形態や機能を持つことを考察している。生物の共通点と相違点を進化の視点に基づき、考察している。 【態】生物の特徴に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	【知】単元テストや定期考査により、基本的な知識・技能が身についているかどうかを評価します。 【思】単元テストや定期考査により、多面的に考察したり、判断する力を評価します。また、レポート等にまとめるなどの表現力を評価します。
5 6 7	22	第2節 エネルギーと代謝 1 生命活動とエネルギー 2 代謝とエネルギー 3 ATP 第3節 呼吸と光合成 1 呼吸 2 光合成 3 エネルギーの流れ 4 酵素 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝情報を含む物質—DNA 2 DNAの構造 第2節 遺伝情報の複製と分配 1 遺伝情報の複製 2 遺伝情報の分配 第3節 遺伝情報の発現 1 遺伝情報とタンパク質 2 タンパク質の合成 3 分化した細胞の遺伝子発現 4 遺伝情報と遺伝子、ゲノム	【知】自律神経系と内分泌系による調節のしくみを理解している。 【思】交感神経と副交感神経のはたらきについて考察している。未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察している。 【態】体内環境に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。免疫のはたらきに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	【態】小テスト、ワークや課題への取組状況等を総合的に評価します。
8 9 10	22	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での遺伝伝達と調節 1 体内での情報伝達 2 神経系による情報の伝達と調節 3 内分泌系による情報の伝達と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 1 情報の維持 2 血糖濃度の調節のしくみ 3 血液の循環を維持するしくみ 第3節 免疫のはたらき 1 からだを守るしくみ—免疫 2 自然免疫 3 適応免疫	【知】自律神経系と内分泌系による調節のしくみを理解している。 【思】交感神経と副交感神経のはたらきについて考察している。未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察している。 【態】体内環境に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。免疫のはたらきに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	

		4 免疫と病気		
11	22	第4章 生物の多様性と生態系	【知】生態系において種多様性が維持されるしくみを理解している。	
12		第1節 植生と遷移		
1		1 植生	【思】森林環境や植生がどのような変化するかを考察している。	
		2 植生の遷移		
		第2節 植生の分布とバイオーム	【態】生態系と保全に関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	
		1 バイオームの成立		
		2 世界のバイオーム		
		3 日本のバイオーム		
		第3節 生態系と生物の多様性		
		1 生態系の成りたち		
		2 生態系と種多様性		
		3 生物どうしのつながり		
		第4節 生態系のバランスと保全		
		1 生態系のバランス		
		2 人間の活動と生態系		
		3 生態系の保全		

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	体育	3	必修	3	伊 藤 航

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	Active Sports
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養っている。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。
評価規準 及 評価配分	【知識及び技能】 1 体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と運動の実践を通して、多様な関り方を状況に応じて選択している。 2 各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうとともに、各領域に応じた技能や攻防ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、考え深め他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 合意形成に貢献しようと意欲を持っており、健康・安全を確保している。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	体づくり運動	○	○	○	【知】自己のねらいに応じて、継続的な運動の計画を立てて取り組んでいる。 【思】目標達成のための課題を見つけられ、合理的な解決に向け考えを共有している。 【態】合意形成に貢献している。	活動観察
5	20	体育理論 バレーボール	○			【知】豊かなスポーツライフの設計について理解している。 【知】連携した動きによって空間を作り出し攻防している。	活動観察 スキルテスト
5		バレーボール		○	○	【思】他者からのアドバイスを参考に、自己の考えを深め計画的に取り組んでいる。 【態】合意形成に貢献している。	活動観察
6		バレーボール	○		○	【知】自己に適した多様な関わり方をしている。	活動観察
7	20	陸上競技	○		○	【知】種目特有の技能を身に付けている。 【態】一人一人の違いに応じた課題に挑戦している。	活動観察
8		陸上競技	○	○	○	【知】種目特有の技能を身に付けている。競技会の行い方を理解している。 【思】他者からのアドバイスを参考に、自己の考えを深め計画的に取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト
9	20	体育理論 【選択】 ダンス 器械運動（マット運動）	○	○	○	【思】豊かなスポーツライフの設計について課題を発見し、解決に向けて考えたことを他者に伝えている。 【知】自己に適した技で演技している。特有の表現を身に付けている。 【態】一人一人の違いを大切にし、主体的に取り組んでいる。	活動観察
10		【選択】 ダンス 器械運動（マット運動）	○	○	○	【知】自己に適した技で演技している。特有の表現を身に付けている。 【思】テーマに沿った課題を発見し考えを深め、計画的に取り組む方を工夫している。	活動観察 スキルテスト

11		12月まで各12時間ずつ実施 バドミントン バスケットボール	○		○	【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決する過程で、多様な楽しみ方を味わっている。 【態】合意形成に貢献し、互いに高め合おうとしている。	活動観察
12	2 4	バドミントン バスケットボール	○	○	○	【思】自他の課題を発見し、計画的に取り組み方を工夫し考えを共有している。 【知】自己に適した多様な関り方をしている。作戦を立てて仲間と連携してゲームを展開している。	活動観察
1	6	体育理論			○	【態度】豊かなスポーツライフの設計の仕方について主体的に取り組んでいる。	活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
外国語	論理・表現 I	3	必修	2	川本 璃音

使用教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)
使用副教材	NEW FAVORITE English Logic and Expression I English Grammar (東京書籍)
科目の目標	英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第Ⅰ款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第Ⅰ款の(3)に示す資質・能力を育成する。 (1) 話すこと [やり取り] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。 (2) 話すこと [発表] ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
学 習 の 到達 目 標	多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
学 習 の 留 意 点	(1) 論理・表現Ⅰ専用のファイルまたはノートを用意し、毎時間持参すること。 (2) 授業中は英語を使ってコミュニケーションをとること。 (3) ALTとの授業では積極的にALTとコミュニケーションをとること。 (4) 分からないところはその授業中もしくは授業終わりに質問するなどして理解を深めること。

	(5)定期考査は実施しないため、各単元のパフォーマンステスト及びペーパーテストに意欲的に取り組むこと。
評価規準	【知識・技能】 [知識] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた表現の形、意味、用法を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解し、適切な表現を用いて自分の気持ちや考えなどを表現している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況を理解し、適切な表現を用いて自分の気持ちや考えなどを表現しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	Unit 1 Lesson 8 スクールカウンセラーに相談 [題材内容] スクールカウンセラーとやり取りをする場面 [領域] ◎話すこと（やり取り） [言語の働き] 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案する、お礼や感謝を伝える [文法] ・howやwhyを用いた疑問文	【知】 状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、状況を説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に付けている。 【思】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たりしている。また、助言・提案をしたり、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、状況を整理して説明したり、手助けを申し出たり、助言・提案をしたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、お礼や感謝を伝えたりして、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】 パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】 パフォーマンステスト 【態】 パフォーマンステスト、振り返りシーターの記述、活動の観察
5	5	Unit 1 Lesson 9 お気に入りを紹介 [題材内容] 自分のお気に入りを紹介するスピーチ [領域] ◎話すこと（発表） [言語の働き] 映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする、感想や批評を述べる	【知】 映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるなどの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるなどの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身に付けている。 【思】 相手の知識や発言を理解し、適切な表現を用いて、あらすじなどを順序だてて要約して紹介したり、内容に関連する感想や批評を述べたりしている。また、聞き手や読み手にわかりやすく、自分の考えや気持ちなどを表現している。	【知】 パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】 パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察

		[文法] 前置修飾，後置修飾	【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，あらすじなどを順序だてて要約して紹介したり，内容に関連する感想や批評を述べたりするために，繰り返し活動に取り組もうとしている。また，自分の考えや気持ちなどを，聞き手や読み手にわかりやすく表現しようとしている。	【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
5	5	Unit 1 Lesson 10 待ち合わせに遅刻 [題材内容] 待ち合わせに遅刻したときの場面 [領域] ◎話すこと（やり取り） [言語の働き] 相手に謝る，相手を許す，相手を励ます [文法] ・使役動詞 ・to不定詞と動名詞	【知】謝る，許す，励ますときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，謝る，許す，励ますときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】相手の状況を理解し，適切な表現を用いて，具体的な内容や理由を添えて謝罪の気持ちを伝えている。また，相手を許す気持ちを伝えたり，相手を励ましたりして，自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，具体的な内容や理由を添えて謝罪の気持ちを伝えるために繰り返し活動に取り組もうとしている。また，相手を許す気持ちを伝えたり，相手を励ましたりして，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
6	5	Unit 1 Lesson 11 家庭でのディスカッション [題材内容] 家庭内で身近な社会問題についてディスカッションする場面 [領域] ◎話すこと（やり取り） [言語の働き] 共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案する [文法] ・仮定法	【知】共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案するときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，共感を述べる，残念な気持ちを述べる，解決策を提案するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，共感[賛成・反対]を述べたり，残念に思う気持ちを伝えたりしている。また，相手の抱える問題に対する解決策を提案したりして，自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，共感[賛成・反対]を述べたり，残念に思う気持ちを伝えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また，相手の抱える問題に対する解決策を提案したりして，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
6 7	5	Unit 1 Lesson 12 英字新聞に投稿 [題材内容] 学校の英字新聞に投稿する記事のライティング [領域] ◎書くこと [言語の働き] 要望や主張を述べる，理由を述べる [文法] ・仮定法	【知】要望や主張を述べる，理由を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，要望や主張を述べる，理由を述べるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】相手の意見や立場を理解し，適切な表現を用いて，要望や主張[自身の意見]を述べたり，要望や主張をサポートする理由を述べたりしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，要望や主張[自身の意見]を述べたり，要望や主張をサポートする理由を述べたりしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察

7 8	6	Unit 2 Lesson 1 クラスでディベート① [題材内容] 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 [領域] ◎話すこと（やり取り） [言語の働き] 理由を述べる，例を挙げる [文法] ・ to不定詞と動名詞	【知】理由を述べる，例を挙げるときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，理由を述べる，例を挙げるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり，自説に合った例を挙げたりしている。また，考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり，自説に合った例を挙げたりしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
8 9	6	Unit 2 Lesson 2 クラスでディベート② [題材内容] 電子書籍と紙の書籍についてクラス全体でチョークディベートをする場面 [領域] ◎話すこと（やり取り） [言語の働き] 相手の意見に反駁する，相手の意見を引用する [文法] ・ 否定語の使い方	【知】相手の意見に反駁する，相手の意見を引用するときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，相手の意見に反駁する，相手の意見を引用するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】相手の意見を理解し，適切な表現を用いて，反駁したり，相手の発言を引用したりしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，反駁したり，相手の発言を引用したりして，繰り返し活動に取り組もうとしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
9 10	5	Unit 2 Lesson 3 経験談のスピーチ [題材内容] 自らの子供のころの経験についてのスピーチ [領域] ◎話すこと（発表） [言語の働き] できごとをいきいきと描写する，経験からアドバイスをする [文法] ・ 後置修飾 ・ 受動態	【知】理由を述べる，例を挙げるときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，理由を述べる，例を挙げるときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】場面や状況を理解し，適切な表現を用いて，相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり，自説に合った例を挙げたりしている。また，考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，相手を説得するために自説を補強する理由を述べたり，自説に合った例を挙げたりしている。また，自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
10 11	5	Unit 2 Lesson 4 遊びやスポーツを紹介 [題材内容] オリエンテーリングのルールや手順を紹介するスピーチ [領域] ◎話すこと（発表）	【知】ルールや手順を順序立てて説明する，聞き手や読み手の知識に合わせて説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて，ルールや手順を順序立てて説明する，聞き手や読み手の知識に合わせて説明するときの表現を適切に運用している。自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察

		[言語の働き] ルールや手順を順序だてて説明する、聞き手の知識に合わせて説明する [文法] ・現在完了形と過去形	【思】相手の理解に配慮し、ルールや手順を順序立てて説明したり、聞き手や読み手の知識に合わせて説明したりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら、ルールや手順を順序立てて説明したり、聞き手や読み手の知識に合わせて説明したりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
11 12	5	Unit 2 Lesson 5 日本をPR [題材内容] 日本の文化（こんにやく）をPRするスピーチ [領域] ◎話すこと（発表） [言語の働き] 事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明する [文法] ・接続詞and, but, so	【知】事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】事実と意見を区別して述べたり、相手の認識に配慮し、客観的に説明したりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら、事実と意見を区別して述べたり、相手の認識に配慮し、客観的に説明したりするために、繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
12 1	6	Unit 2 Lesson 6 物語の両面を伝える [題材内容] 兄弟姉妹とのルームシェアについてのライティング [領域] ◎書くこと [言語の働き] 利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変える [文法] ・名詞 ・無生物主語	【知】利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】適切な表現を用いて、利点と欠点の両方を述べたり、話題を発展させたり、ディスコースマーカーを適切に用いて話題を変えたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、利点と欠点の両方を述べたり、話題を発展させたり、ディスコースマーカーを適切に用いて話題を変えたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察
1 2	6	Unit 2 Lesson 7 読み手を納得させる [題材内容] 外国映画の見方についてのライティング [領域] ◎書くこと [言語の働き] 自分の主張について理由を説明する、理由を要約してまとめる [文法] ・分詞構文	【知】自分の主張の理由・根拠を説明する、理由を要約して述べるときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて、自分の主張の理由・根拠を説明する、理由を要約して述べるときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】適切な表現を用いて、相手が納得できるように、自分の主張の理由・根拠を説明したり、相手の意見を理解し、理由を要約して述べたりしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、相手が納得できるように、自分の主張の理由・根拠を説明したり、相手の意見を理解し、理由を要約して述べたりするために繰り返し活動に取り組もうとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察

			返し活動に取り組もうとしている。また、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
2 3	6	Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する [題材内容] 海外に行くことについてのライティング [領域] ◎書くこと [言語の働き] 人の発言を直接引用する, 条件を出して意見を述べる, 説得する [文法] ・名詞と無生物主語	【知】人の発言を直接引用する, 条件を出して意見を述べる, 説得するときの表現の形・意味・用法を理解し、学んだ知識を用いて, 人の発言を直接引用する, 条件を出して意見を述べる, 説得するときの表現を適切に運用し, 自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。 【思】相手の意見や主張を理解し, 適切な表現を用いて, 自分と他者の意見や発言を区別してそれを引用したり, 条件を出して意見を述べたり, 相手を説得したりしている。また, 自分の考えや気持ちなどを表現している。 【態】自身の活動を振り返りながら適切な表現を用いて, 自分と他者の意見や発言を区別してそれを引用したり, 条件を出して意見を述べたり, 相手を説得したりするために, 繰り返し活動に取り組もうとしている。また, 自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	【知】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【思】パフォーマンステスト、ペーパーテスト、活動の観察 【態】パフォーマンステスト、振り返りの記述、活動の観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	総合実習	3	必修	1	滝澤、宮川、三木、石田

使用教科書	
使用副教材	FFJナビゲーター
科目の目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 農業クラブ活動を通して、地域の課題を分析し改善に向けた総合的な知識と技術などの実践することができる 2 自らの課題や主張をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力を育成し、農業の各分野の改善を図る実践することができる。 3 自主的に研究・競技活動を行い、農業の技術の習熟を図るとともに、農業の各分野の改善を図る実践することができる。
学 習 の 留意点	1 日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付けること。 2 日頃から農業に関わるニュースに関心を持ち、農業経営を具体的な数字で理解すること。
評価規準 及 び 評価配分	【知識・技術】 農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択している。
	【思考・判断・表現】 農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
	【主体的に学習に取り組む態度】 農業学習と学校農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	プロジェクト計画発表会	【思】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【態】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【態】行動観察
5	9	クラス意見発表大会 校内意見発表大会 農業クラブ総会	【知】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【思】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	課題点検 レポート 発表の様子
6	5	北北海道実績発表大会	【知】農業学習の特質である農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【態】農業学習の特質である農業学習や学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、科学性や実践力の育成を目指す実践的、総合的な学習であることを理解している。	行動観察 小テスト
7	9	校内技術競技大会	【知】農業学習の特質である農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【思】農業学習の特質である農業学習や学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、科学性や実践力の育成を目指す実践的、総合的な学習であることを理解している。	行動観察 小テスト
11	4	プロジェクト中間発表会	【知】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【態】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	

3	4	実績発表大会	【知】プロジェクト学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。 【思】プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【態】プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。	課題点検 レポート 行動観察 小テスト
---	---	--------	---	---

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	総合実習	3	必修	1	宮 川 拓

使用教科書	
使用副教材	なし
科目の目標	草花の生産に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 草花の生産と利用について興味・関心を持たせ、探求する姿勢を身に付ける。 2 生産の利用の特性について、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 3 草花に共通する生理・生態的な特性と栽培環境に関する知識及び開花調節などを身に付ける。 4 花壇用草花等の管理を行うことによって、季節による灌水方法や、肥料・施設管理について身に付ける。 5 鉢ものの生産について、草花の種類によって異なる栽培管理やその体系についての知識を身に付ける。
学 習 の 留意点	1 主体的に実習に取り組み総合的な知識と技術などを身に付けること。 2 わからないことを質問し、理解する姿勢で臨み、疑問を持つことを習慣付けること。 3 疑問点を主体的に改善できるように努力すること。
評価規準 及 評価配分	【知識・技術】 草花の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の意義や役割を理解している。 草花の各分野に関する基礎的・基本的な技術を深め、草花に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 【思考・判断・表現】 草花に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	2	ガイダンス 草花園芸の特徴	【知】草花の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。 【思】草花の品種の特徴を表現している。 【態】草花生産と経営に興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察

6 7	12	草花の生育と環境	【知】移植についての意義や方法について理解できる。 【思】草花の生育状況や移植の判断基準について判断している。 【態】我が国で生産されている草花の種類や生産形態に興味関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
8 9	8	園芸デザイン	【知】草花の装飾特性の基礎的・基本的な知識を身に付けて理解している。 【思】草花の装飾的特性を生かした剪定方法や花壇花の定植方法を判断することができる。 【態】グループで園芸デザインを意識した花壇造成に取り組もうとしている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
10	5	花壇用草花生産の特色	【知】花壇用草花生産の特色を理解し、知識・技術技能を身に付けている。 【思】剪定する花はどのような花なのかを理解し、判断することができる。 【態】花壇用草花の生産の特色についての学習を主体的に取り組もうとしている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
11 12 1	8	鉢ものの生産の特色	【知】鉢ものの経営的特色・栽培環境の特色、栽培環境や消費者のニーズに合った種類・品種・作型について理解する。 【思】高品質なシクラメン、ポインセチアを生産している農家の条件と比較し、本校のシクラメンの課題を考え、栽培方法の改善策について考えることができる。 【態】鉢ものについて特性と栽培技術を主体的に取り組もうとしている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	野菜	3	必修	2	三木 崇裕

使用教科書	野菜（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を育成することを目指す。
学 習 の 到達目標	1 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 3 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
学 習 の 留意点	1 定期考査は座学を中心に出题し実習内容を含め出题するのでしっかり取り組むこと。 2 わからないところをしっかりと聞き理解する姿勢で臨み、疑問を持つことを習慣付けること。
評価規準	【知識・技術】 野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、野菜の意義や役割を理解している。
	【思考・判断・表現】 野菜に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 野菜に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技術 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	5	ガイダンス ・プロジェクト学習計画	【知】作物の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。 【思】研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立てられる。 【態度】生育状況や施肥設計および栽培環境が生育状態や収量にどのような影響を与えるのか研究する。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
4 5	12	野菜の特性と栽培技術 ・トマト・ナス・ピーマン	【知】各種野菜の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。 【思】各種野菜の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【態】各種野菜の栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
6 7	13	野菜の特性と栽培管理 ・トマト・ナス・ピーマン ・エダマメ・キャベツ・ハクサイ	【知】各種野菜の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。 【思】各種野菜の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【態】各種野菜の栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
8 9	5	野菜の特性と栽培技術（収穫） ・トマト・ナス・ピーマン ・エダマメ・キャベツ・ハクサイ	【知】各種野菜の出荷基準に関する知識を身につけ、出荷調整方法を理解している。 【思】各種野菜の最適な収穫のタイミングを判断することができる。 【態】各種野菜の収穫について関心を持って主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
7 8 9	5	商品化と生産物の管理・評価	【知】野菜の収穫と調製、出荷、その際の品質管理や品質検査及び野菜の商品化について理解している。 【思】品質の向上や消費者のニーズに配慮した付加価値を高める商品化について判断できる。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート

			【態】野菜の収穫と調整、出荷、その際の管理、野菜の商品化について主体的に取り組もうとしている。	
4 5 6 7 8 9	10	機械・施設の利用	【知】機械・施設の利用について、に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、意義や役割を理解している。 【思】温室の設備、環境制御技術について適切に理解、表現できる。 【態】大規模生産や品質の向上などについて主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート
12 1 2 3	10	プロジェクト学習のまとめ	【知】野菜の基本的な知識技能を身に付けている。 【思】作物の収量試験の結果を分析して考察して表現している。 【態】わかりやすい発表をするために主体的に取り組もうとしている。	【知】観察・ワークシート 【思】ワークシート 【態】観察・ワークシート

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	畜産	3	必修（生産科学コース）	2	宮 川 拓

使用教科書	畜産（実教出版）
使用副教材	
科目の目標	遠別町のめん羊や畜産について理解を深め、家畜の飼育と畜産経営に必要な知識と技術を、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して習得させ、家畜の特性や合理的な飼育管理を理解させるとともに、地域課題の解決を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到 達 目 標	1 めん羊の繁殖・哺育管理を理解する。 2 めん羊の飼養管理技術を向上させる。 3 乳牛の各部位の名称と優秀な乳牛の特徴を理解する。 4 粗飼料の栽培管理及びサイレージの特性と生産過程を理解する。 5 乳牛の生理・生態的な特徴を学び、飼育管理・環境と、生産性向上との関係を理解する。 6 ニワトリ、ブタの生理・生態的な特徴を学び、合理的な飼育管理・環境を理解する。 7 課外活動を通して主体的に学ぶ力を身につける。
学 習 の 留 意 点	1 めん羊の管理実習では、怪我をしないよう常にめん羊の行動に注意し安全に実習をおこないます。 2 畜産に関わるニュースに関心を持ち、日本の畜産情勢を数字で把握できる数字力を身につける。
評 価 規 準	【知識・技術】 家畜の特徴や役割、畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、生産性や品質の向上が経営発展へ繋がるような関連する技術を自ら学び、めん羊での管理作業や飼養管理を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題の解決を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 めん羊の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技術 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	酪農 ○乳牛の特性 ○乳牛の飼養管理 ○畜産の衛生について	【知】乳牛の習性や生理、生態について興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【思】乳牛のからだの特徴について説明できる。 【態】実習を行う際に衛生を意識し、準備ができています。用具の手入れができています。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
4	6	めん羊の駆除プログラム ○BCS ○貧血スコアの見方 ○糞便検査	【知】めん羊を安全に保定し、積極的に自習へ参加している。 【思】BCSや貧血スコアの結果をみて、羊の健康状態を説明することができる。 【態】BCSや糞便検査、貧血スコアを正確に測定している。 【知】線虫の駆虫プログラムを理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
5	6	消化吸収機能及び飼料生産 ○ルーメンの発達 ○ルーメン微生物と微生物タンパク質	【知】めん羊に負担かけず、ルーメン液を安全に取り出そうとしている、 【思】消化器官と消化の相互関係を適切に説明できている。 【態】正しく顕微鏡を利用できている。 【知】家畜の消化器官と消化の過程を正しく理解している。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
5	8	家畜と飼料 ○家畜の栄養と栄養素 ○飼料とその成分 ○飼料計算の基礎 ○飼養標準 ○飼料成分表 ○サイレージの特性と生産過程	【知】家畜の飼料について関心をもって積極的に取り組んでいる。 【思】飼料計算を基に適切な飼料計算方法を判断することができている。 【態】サイレージの調製方法を踏まえて、実習が行えている。 【知】各種栄養素とその機能と代謝について理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
6	10	めん羊の飼養管理技術 ○BCS ○家畜の排泄とその処理法	【知】堆肥の水分や温度を測定して科学的に堆肥化に取り組んでいる。 【思】堆肥の水分量や温度をみて、堆肥化するうえで適切な環境になっているか判断することができる。 【態】ストレスを最小限抑えた保定技術を行えている。 【知】堆肥の発酵原理を理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
6	5	優秀な乳牛の見分け方 ○乳牛の体型と部位の名称 ○乳牛の理想体型について	【知】乳牛の理想体型について興味関心をもって積極的に取り組めたか。 【思】乳牛の部位に関する見方を習得し、合理的に部位ごとの優劣を比較・判断することができている。 【態】乳牛の理想体型を目指した飼養・管理をするための方法を習得できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察

			【知】乳牛の基本的な体型を学習し、各部の名称を体型審査基準に沿って相互に関連づけて理解できている。	
7	8	繁殖羊の飼料設計 ○繁殖ステージ	【知】めん羊の繁殖ステージについて関心をもって積極的に取り組んでいる。 【思】繁殖ステージとはなにか説明することができる。 【態】繁殖ステージ合わせた飼料設計ができている。 【知】繁殖めん羊の栄養管理に関する知識を理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
8 9	10	消化吸収機能及び飼料生産 ○ルーメンの発達 ○ルーメン微生物と微生物タンパク質	【知】乾草の生産上の課題を認識し、農業機械を使用した乾草収穫において積極的に取り組むことができている。 【思】乾草の種類とその特徴について説明することができる。 【態】乾草の種類の特徴を踏まえた飼料設計を行えている。 【知】乾草の種類や特徴について理解している。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
10 11	4	乳牛の生態と飼育管理・環境 ○乳牛の歴史 ○乳牛の品種 ○家畜育種と形質 ○家畜改良の重要性	【知】乳牛の歴史と品種に関心を持って積極的に取り組めたか。 【思】乳牛の合理的な飼育環境を適切に比較し判断できている。 【態】基礎的な飼育方法に関する技術を身につけている。 【知】乳牛の適切な管理方法について理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
12	5	乳牛の繁殖について ○生殖器の構造と働き ○人工授精 ○分娩	【知】乳牛の生殖器の構造について興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【思】人工授精について正しい判断をしている。 【態】乳牛の子宮の構造を理解し、分析する技術を身に付けている。 【知】乳牛の繁殖について基本的な知識を身に付けている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察
1 2	3	ニワトリ、ブタの生態 ○中小家畜の歴史 ○中小家畜の品種	【知】中小家畜の歴史と品種に関心を持って積極的に取り組めたか。 【思】合理的な飼育環境を適切に比較し判断できているか。 【態】中小家畜の基礎的な飼育方法に関する技術を身に付けている。 【知】中小家畜の基礎的な飼育方法に関する知識を理解できている。	【知】ワークシート、活動観察 【思】ワークシート 【態】活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	栽培と環境	3	必修（生産科学コース）	2	宮川 拓

使用教科書	栽培と環境（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	栽培作物の生育と環境との関係を総合的に考察できるようにし、実際の栽培に応用できる知識と技術を実践的、探究的に学習し、栽培環境の改善に取り組むことができる。
学 習 の 到達目標	1 栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 2 栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	1 作物栽培と環境との関係について観察を中心に座学や実験実習を並行するので記録ノートや配布物を必ず持参すること。 2 作業の記録や、生育および環境の観察事項を正確に記録し、基礎基本的な栽培に関する知識や技術を学習すること。 3 地域の畑作の現状を理解し、これからの作物経営のポイントとなる事項を考察できるように学習すること。
評価規準 及 び 評価配分	【知識・技術】 栽培と環境に関する基礎的な知識と技能を身に付け、作物栽培に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【思考・判断・表現】 栽培と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 栽培と環境に関する学習内容について教科内プロジェクトのテーマから自分自身の課題を設定し解決に向けて実践することができる。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	7	ガイダンス ・プロジェクト学習計画 ・栽培環境の特性	【知】作物を取り巻く様々な環境を理解している。 【主】研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立案できている。	【知】ノート点検 【主】活動状況
4 5	8	栽培環境と植物生理・栽培技術 ・栽培環境の特性 ・作物の種類・一生	【知】植物の生理と栽培環境について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【思】トマトの栽培計画を立てることができる。	【知】定期テスト 【思】ワークシート
5 6	9	栽培環境-気象 ・ 作物の栽培管理	【知】作物を取り巻く気象的要素について理解している。 【主】トマトの栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。	【知】定期テスト 【主】活動観察
7 8	10	栽培環境-土壌 作物の特性と栽培管理 （生育調査・収穫） ・メロン	【知】作物を取り巻く土壌的要素について理解している。 【主】メロンの栽培管理・収穫に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。	【知】ノート確認 【主】活動観察
9	12	栽培環境-生物 作物の特性と栽培管理 （生育調査・収穫） ・メロン	【知】作物を取り巻く生物的要素について理解している。 【主】メロンの栽培管理・収穫に関心を持って積極的に取り組もうとしている。	【知】ノート確認 【主】活動観察
10 11	7	施設型農業の栽培環境	【知】施設型農業の栽培環境について理解している。 【思】栽培環境による作物の違いをデータを元に比べることができる。	【知】定期テスト 【主】活動観察
1 2	5	環境に配慮した栽培 栽培環境の診断 生産物の管理と評価 ・1年間の振り返り	【知】栽培環境の診断方法を理解している。 【思】環境を人為的に作った圃場づくりについて基礎的な技術を身に付けようとしている。 【主】生育環境の要素について興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組み、課題解決を図ろうとしている。	【知】定期テスト 【思・主】グループワーク

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業経営	3	必修	2	滝澤 ジェス

使用教科書	農業経営（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す
学 習 の 到達目標	1 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。 3 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	1 農業を取り巻く社会経済環境を踏まえ、農業経営の現状や今日的な課題の解決を考察すること。 2 農業に関わるグローバルなニュースに関心を持ち、日本の農業情勢を具体的な数字で理解すること。 3 起業家としてのノウハウやマインドを学びながらでチャレンジ精神や情報収集・分析力、リーダーシップ等の力を身につけること。
評価規準	【知識・技術】 農業経営の設計管理やマーケティングについて興味・関心をもち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決するための実践的な知識や技能を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 農業経営の設計管理やマーケティングに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
	【主体的に学習に取り組む態度】 農業経営の設計管理やマーケティングに関する基礎的な技術を主体的に身に付け、設計管理やマーケティングに関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。

年間学習計画

評価の観点（【知】：知識・技術 【思】：思考・判断・表現 【態】：主体的に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	7	農業の動向と農業経営 ○日本と世界の農業 ○農業経営と食料供給の関係性 ○農業・農村と食料・環境	【知】食生活の変化や食に対する消費者の意識を理解している。 【思】食料消費支出のグラフを読み取り、日本の食料消費支出の特徴を踏まえて、新たなサービスを考えられている。 【態】新たなサービスについて、主体的・協働的に伝えようとしている。	【知】単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動観察、グループワーク
5	8	農業経営の目標と生産要素 ○農業の主体と目標 起業にかかる情報のインプット ○ブレインストーミング ○先行事例調査の実施 ○ビジネスアイデアの実現性と魅力	【知】収益の意味について理解している。 【思】農業所得を計算し、利益をあげる方法について考えられている。 【態】利益の上げ方について、主体的・協働的に伝えようとしている。	【知】単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動観察、グループワーク
6	9	農業経営の組織運営 ○経営組織 ○農業生産の要素 ビジネスアイデアの立案・改善 ○ビジネスモデルの作成 ○プロトタイプの実作 ○インタビューの実施と結果の評価	【知】経営の種類や農用地の大切さについて理解している。 【思】耕作放棄地の活用方法の事例を参考に、農用地の正しい利用の仕方について考えられる。 【態】農用地の正しい利用の仕方について、主体的・協働的に伝えようとしている。	【知】単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動観察、グループワーク
7 8	6	農業経営と情報 ○農業経営における情報収集の方法 ビジネスモデルのプレゼン中間発表 ○プレゼンの意義 ○プレゼン資料の作成 ○インタビューの実践	【知】農業資本の特性や特徴について理解している。 【思】自ら考え情報収集する力を身に付けている。 【態】農業経営について主体的・協働的に伝えようとしている。	【知】単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動観察、グループワーク
9	6	収支計画 ○競合調査の方法・利用最大数の調べ方 ○ビジネスモデルの復習 ○収支計画の作り方 ビジネスモデル最終発表	【知】先行事例を調べ、既存の製品・サービスのアイデアについて理解している。 【思】ビジネスアイデアを魅力的なものに改善しようとしている。 【態】先行事例について調べる力を身に付けている。	【知】単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動観察、グループワーク
9 10	8	農業経営 ○農業経営について学ぶことができる教材を使った経営シミュレーション	【知】農業経営に必要な事業計画を立てることができる。 【思】グループで経営戦略を考え意見を出し合って良い会社を作り上げようとしている。 【態】グループで主体的に意見を出し合い良い会社を作ろうとしている。	【知】行動観察 【思】事業計画書 【態】活動観察、グループワーク

10	7	農業経営 ○農業経営について学ぶことができる教材 を使った経営シミュレーション	【知】農業経営に必要な事業計画を立てることができる。 【思】グループで経営戦略を考え意見を出し合って良い会社を作り上げようとしている。 【態】グループで主体的に意見を出し合い良い会社を作ろうとしている。	【知】行動観察 【思】事業計画書 【態】活動観察、グループワーク
11 12	6	農業経営 ○農業経営について学ぶことができる教材 を使った経営シミュレーション	【知】農業経営に必要な事業計画を立てることができる。 【思】グループで経営戦略を考え意見を出し合って良い会社を作り上げようとしている。 【態】グループで主体的に意見を出し合い良い会社を作ろうとしている。	【知】行動観察 【思】事業計画書 【態】活動観察、グループワーク
12 1	6	農業経営 ○農業経営について学ぶことができる教材 を使った経営シミュレーション	【知】農業経営に必要な事業計画を立てることができる。 【思】グループで経営戦略を考え意見を出し合って良い会社を作り上げようとしている。 【態】グループで主体的に意見を出し合い良い会社を作ろうとしている。	【知】行動観察 【思】事業計画書 【態】活動観察、グループワーク

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品製造	3	必修	2	石田 香蓮

使用教科書	食品製造
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の進行や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 到達 目 標	1 実験・実習をとおして、食品の特性と加工原理を理解し実践することができる。 2 食品や製造機械、器具の安全な取り扱いについて実践することができる。 3 食品衛生上の危害発生の防止方法について理解し、実践することができる。
学 習 の 留 意 点	1 製造実習はノートを準備し実習の目的を記入してから実施すること。 2 製造実習は自己の健康管理を含め、衛生管理を徹底し、事故に十分注意すること。
評価 規 準	【知識・技術】 食品製造に関するプロジェクト学習をとおして基本的な知識を身に付けるとともに、製造原理や原材料の特性などを理解し実践することができる。 【思考・判断・表現】 実習における自分の役割を理解し、周囲と協力しながら意欲的に実習に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教科内プロジェクトのテーマから自分自身の課題を設定し解決に向けて実践することができる。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	20	○オリエンテーション ○「食品製造の意義」 ○「食品産業の現状と動向」 ○製造器具の取扱い ○手洗いの実践と衛生検査	【知】食品や製造器具について正しく理解することができる 【思】日本の食品産業がかかえる問題点について考え、自分の言葉で表現することができる 正しく手洗いをすることができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
6 7	25	○「食品製造とプロジェクト学習」 ○製造機械の組み立て ○肉加工実習（ソーセージ） ○農産加工実習 （マヨネーズ、パスタ）	【知】食品製造の目的を理解することができる 加工の仕組みを理解することができる 【思】製造機器の組み立てができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
8 9	21	○「食品の包装」 ○「加工食品の表示制度」 ○「身近な食品の化学」 ○肉加工実習 （ベーコン） ○農産加工実習 （ジャムパン、シソ飲料）	【知】食品包装の目的を理解することができる 法律による食品表示について学ぶことができる 加工工程について理解することができる 【思】食品包装材料の種類とその特徴を理解し、リサイクルについて考えることができる 仲間と協力して実習を行うことができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
10	16	○「穀類の加工」 ○「豆類の加工」	【知】穀類・豆類の加工原理を理解することができる	【知】活動観察 小テスト

		○肉加工実習（ひき肉） ○農産加工実習（レトルトカレー）	加工工程について理解することができる 【思】仲間と協力して実習を行うことができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【思】レポート 【主】活動観察 ノート
11 12	21	○「いも類の加工」 ○「野菜類の加工」 ○「果実類の加工」 ○「肉類の加工」 ○肉加工実習 （羊肉まん、グリルチキン） ○農産加工実習 （メロンパン、スポンジケーキ）	【知】いも類、野菜類、果実類の加工原理を理解することができる 加工工程について理解することができる 【思】肉の加工特性を知り、肉加工品との関係を理解することができる 仲間と協力して実習を行うことができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
1 2	21	○「牛乳の加工」 ○「鶏卵の加工」 ○農産加工実習（醤油）	【知】乳製品、鶏卵の特性と加工原理を理解することができる 【思】仲間と協力して実習を行うことができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品化学	3	必修（食品科学コース）	2	石 田 香 蓮

使用教科書	食品化学（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の成分と栄養価値の利用に必要な資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	1 食品化学について体系的・系統的に理解し関連する技術を身につけることができる。 2 食品化学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができる。 3 食品化学について食品の成分や栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。
学 習 の 留意点	1 食品製造実習では担当教員の説明をしっかりと聞き積極的に取り組むこと。 2 食品製造と食品化学との関連を常に意識し、何故その作業を行うのかを考え実習に臨むこと。 3 身近な食品を科学的視点でとらえられるよう意識して食品に接すること。
評価規準	【知識・技術】 食品化学に関するプロジェクト学習を通して、食品成分分析や栄養的価値の評価などに必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。
	【思考・判断・表現】 食品産業の現状と動向、食品分析の方法や栄養的価値の評価などから課題を発見し、食品の安全性や環境への配慮、法令順守などの職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。
	【主体的に学習に取り組む態度】 食品の成分や栄養が人々の生命の維持に直結していることを理解し、生産性と品質の向上を図るとともに、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	6	オリエンテーション 食品衛生活動 (1)食品化学の役割	【知】食品化学の役割を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。 【思】食品産業の現状と動向などから課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の成分や栄養が生命の維持に直結していることを理解し、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 【思】ワークシート 【態】活動の観察

5	6	(2)食品の成分 ・食品の成分の分類と機能 ・水分 ・タンパク質	【知】食品成分分析に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。 【思】食品の成分から課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の成分が生命の維持に直結していることを理解し、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 【思】ワークシート 【態】活動の観察
6	6	(2)食品の成分 ・脂質 ・炭水化物 ・無機質、ビタミン、微量成分 ・まとめ	【知】食品成分分析に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。 【思】食品の成分から課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の成分が生命の維持に直結していることを理解し、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 単元テスト 考查 【思】ワークシート 考查 【態】活動の観察
7	6	(3)食品の栄養とその評価 ・食品成分の消化と吸収 ・おもな栄養素の代謝	【知】食品の栄養的価値の評価に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。 【思】食品の栄養的価値の評価から課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の栄養が生命の維持に直結していることを理解し、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 【思】ワークシート 【態】活動の観察
8	6	(3)食品の栄養とその評価 ・栄養改善と健康 ・食品の栄養的価値とその評価 ・食品群別の成分と栄養	【知】食品の栄養的価値の評価に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。 【思】食品の栄養的価値の評価から課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の栄養が生命の維持に直結していることを理解し、安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動の観察
9	6	(4)食品の成分分析 ・食品成分分析の意義 ・試料の採取・調製・保存 ・成分分析の実際	【知】食品成分分析に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けるようとしている。	【知】活動観察 考查 【思】ワークシート 考查 【態】活動の観察

			【思】食品分析の方法から課題を発見し, 科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の成分や栄養が生命の維持に直結していることを理解し, 安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し, 主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	
10 11	14	(5)食品の衛生検査 ・食品衛生管理の意義 ・異物とは ・細菌の検査 ・水質の検査 ・農薬	【知】食品の衛生検査に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し, 身に付けるようとしている。 【思】食品の衛生検査などから課題を発見し, 食品の安全性や環境への配慮, 法令順守などの職業人としての倫理観をもって, 科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の衛生検査が生命の維持に直結していることを理解し, 安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し, 主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 単元テスト 【思】ワークシート 【態】活動の観察
12	7	(6)食品分析の実践、後期のまとめ ・食品分析の意義	【知】食品成分分析に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し, 身に付けるようとしている。 【思】食品分析から課題を発見し, 食品の安全性や環境への配慮, 法令順守などの職業人としての倫理観をもって, 科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品の成分や栄養が生命の維持に直結していることを理解し, 安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し, その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 考查 【思】ワークシート 考查 【態】活動の観察
I		食品衛生の実践	【知】食品衛生に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解し, 身に付けるようとしている。 【思】食品衛生から課題を発見し, 食品の安全性や環境への配慮, 法令順守などの職業人としての倫理観をもって, 科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養うことができる。 【態】食品衛生が生命の維持に直結していることを理解し, 安全で安心できる食品製造と衛生管理を目指し, 主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	【知】活動観察 【思】ワークシート 【態】活動の観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品微生物	3	必修(食品科学コース)	2	石田 香蓮

使用教科書	食品微生物
使用副教材	なし
科目の目標	食品に関連する微生物の利用と培養に必要な知識と技術を習得させ、微生物の特性を理解させるとともに、農業の各分野で微生物を利用する能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 微生物利用の状況、微生物の役割及び食品と微生物の関係について理解することができる。 2 観察・実験を通して、微生物の形態的特徴と生理的特性を具体的に理解することができる。 3 実習・実験を通して、分離・培養に必要な知識と技術を習得することができる。 4 微生物による環境保全について理解することができる。
学 習 の 留意点	1 実習後はレポート用紙を記入し提出すること。 2 授業の冒頭で必ず授業の目的を話すので、聞き逃さないようにすること。
評価規準 及 評価配分	【知識・技術】 食品微生物に関する基礎的・基本的な知識と、微生物の取扱いや活用に関する、基礎的・基本的な技術を身に付け微生物利用の意義や役割を理解している。 【思考・判断・表現】 食品微生物に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品と微生物の関係について興味・関心をもち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	○オリエンテーション ○「微生物を学ぶに当たって」	【知】に微生物の特徴や微生物研究の歴史を理解することができる 【思】微生物研究の歴史についてレポート等で表現することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
5	8	○「生活環境と微生物」 ○「食品と微生物」	【知】部生物の有用性について理解することができる 【思】食中毒や感染症についてその脅威を発表することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 発表 【主】活動観察 ノート
6	8	○「食品微生物とプロジェクト学習」 ○「微生物の種類」	【知】食品微生物の学習の目的を理解することができる 微生物の種類を学ぶことができる 【思】微生物の種類をレポート等で表現することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
7	6	○「微生物の生育環境」 ○「微生物の遺伝」	【知】微生物の菌体成分と栄養要求について理解することができる 【思】DNAの構造、複製の仕組みについて発表することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
8	2	○「微生物の代謝とその利用」 ○「微生物の酵素」	【知】微生物の代謝について理解することができる 【思】微生物酵素の利点と利用例について発表することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 発表 【主】活動観察 ノート
9	6	○「微生物実験の基本」 ○「微生物の分離と培養」 ○「微生物の観察」	【知】微生物の基本的な取扱い方法を理解することができる 微生物の分離方法を理解することができる 【思】顕微鏡を正しく使うことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート

			【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	
10	8	○「クエン酸生産かびの分離と培養」 ○「酵素生産かびの分離と培養」 ○「きのこ栽培」	【知】クエン酸生産かびの純粋分離と培養方法を理解することができる 【思】シイタケ・ヒラタケの栽培方法を説明することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 発表 【主】活動観察 ノート
11	8	○「アルコール生産酵母の分離と培養」 ○「酵母の同定」	【知】アルコール生産酵母の純粋分離と培養方法を理解することができる 【思】酵母の同定法をレポート等で表現することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
12	8	○「納豆菌の分離と培養」 ○「乳酸菌の分離と培養」 ○「酢酸菌の分離と培養」	【知】納豆菌・酢酸菌の純粋分離と培養方法を理解することができる 【思】乳酸発酵生産物の確認方法をレポート等で表現することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート
1	4	○「微生物利用の発展」	【知】微生物改良の意義について理解することができる 【思】微生物改良の意義についてレポート等で発表することができる 【主】課題解決に向けて、常に探究する姿勢をもち取り組むことができる	【知】活動観察 小テスト 【思】レポート 【主】活動観察 ノート

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
探究	総合的な探究の時間	3	必修	2	全教員

使用教科書	なし
使用副教材	なし
科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
学 習 の 到達目標	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
学 習 の 留 意 点	1 毎時間記録を残し、ファイルにまとめておくこと。 2 担当の先生と報告・連絡・相談・確認を密に行うこと。
評価規準	【知識・技術】 課題の解決に必要なデータ収集や知識から論理的思考を育成し、課題解決に向けて地域社会との協働やSDGsを理解し主体的に実践できる。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身の関わりから課題を見だし、その解決に向けて仮説を立て、試行錯誤しながら粘り強く実践することができる力や、まとめ・表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の興味・関心に基づく探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、積極的にコミュニケーションしながら、地域貢献や地域創造しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技術 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	10	課題の設定	【知】自己の興味・関心に基づき、課題を設定している。 【思】地域や社会の人、もの、ことと自分自身の関わりから問いを見いだしている。 【態】自己の興味・関心と向き合い、主体的に問いを見だし課題を設定している。	【知】ワークシートへの記述、プレゼンテーション 【思】ワークシートへの記述、プレゼンテーション 【態】活動の観察、ワークシートへの記述、プレゼンテーション
5 6 7 8	26	情報収集	【知】課題を解決するための様々な情報収集の方法やその目的を理解している。 【思】課題の解決に向けて仮説を立てたり、目的に応じた手段で情報収集している。 【態】課題を解決するために必要な情報を主体的・協働的に集めている。	【知】活動の観察、ワークシートへの記述 【思】活動の観察、ワークシートへの記述 【態】活動の観察、ワークシートへの記述
9 10	14	整理・分析	【知】データの整理・分析方法について理解している。 【思】課題の解決に向けて、最適な方法を選択しながら集めたデータを整理・分析している。 【態】正確な結論に向けて、より誠実に、あきらめずに繰り返し自分の探究課題に向き合っている。	【知】活動の観察、ワークシートへの記述 【思】活動の観察、ワークシートへの記述 【態】活動の観察、ワークシートへの記述
11 12	18	まとめ・表現	【知】探究活動を通して地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付いている。 【思】探究活動によって得られた調査結果を、データの質や伝えたい内容や方法を踏まえて表現している。 【態】発表を通して、多様な意見や他社の考えを受け入れようとしている。	【知】ワークシートへの記述、発表 【思】発表 【態】ワークシートへの記述
1	2	発表 振り返り	【知】探究活動を振り返り、地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付いている。 【態】探究活動を振り返り、自分なりに考え、社会に貢献しようとしている。	【知】ワークシートへの記述 【態】ワークシートへの記述